

●天満宮 ●天神原館 ●天神原遺跡

工期と工事費

昭和 54 年～昭和 57 年 3 月 1 億 7 千万円

②木戸川溪谷遊歩道

◎場所

女平分校を右に見て、砂利の林道を行くと柴坂トンネルに入る。抜けると左右にモミヤブナなどの広葉樹の自然林が大滝神社まで続く。大滝神社よりに遊歩道の標識がある。

◎遊歩道

谷はまさに千尋の深さである。道はモミヤブナの大木の間を縫って行く。急斜面は右に左に九十九折りである。道の両側にはイワウチワの可憐な花が咲き誇っている。橋もあり、川のない橋である。この橋も九十九折りである。川辺の道は断崖の上であり恐怖で身がしまる。帰りは息が弾み汗が滲む。

◎長淵と重箱岩

神秘を秘めた淵のいろはあくまでも青く、大昔は淵の主である大蛇かカッパが住んでいたに違いない。淵は名の通り長い。淵に重箱岩がある。

◎九竜の滝と猿跳ねの岩

滝は川向うの断崖にくの字に長く走る。猿踏みの岩は滝の川上にある。

◎葦げの滝

広く平らな岩から見られる。川のこちら側に真一文字に飛沫をあげて流れ落ちる。

◎ぢい杉・ばあ杉

千年の樹齢である。10 世紀に互りあらゆる風雪に耐え今尚生々と息づいている。檜葉町の天然記念物である。

◎布滝

一枚の布を広げたように、対岸の絶壁に白く長く懸かる。

◎大滝神社

4 月 8 日は例祭で、浜下^{さが}がりの神事がある。

◎雌滝・雄滝

広く短く轟々と飛沫を舞いあげる。右雌滝、左雄滝である。

